

ロッドレス形 マグネット式スーパーロッドレスシリンダ高精度ガイド形

φ10・φ16・φ25



CONTENTS	
商品紹介	202
シリーズ体系表	240
● 複動形 (MRG2)	242
スイッチ付外形寸法図	249
機種選定ガイド	250
技術資料	256
⚠ 使用上の注意事項	258



●：標準、○：オプション、■：製作不可

バリエーション	形番 回路図 記号	チューブ 内径 (mm)	標準ストローク (mm)									最小 ストローク (mm)	最大 ストローク (mm)	オプション			スイッチ	記載ページ
			50	100	150	200	300	400	500	600	700			両側全ストローク調整金具付	R側全ストローク調整金具付	L側全ストローク調整金具付		
			(mm)	(mm)	(mm)	(mm)	(mm)	(mm)	(mm)	(mm)	(mm)			A	A1	A2		
複動形	MRG2 	φ10	●	●	●	●	●	■	■	■	■	50	300				○	242
		φ16	●	●	●	●	●	●	●	■	■		500	○	○	○		
		φ25	●	●	●	●	●	●	●	●	●		700					

ロッドレス形

SRL3

SRG3

SRM3

SRT3

MRL2

MRG2

SM-25

シリンダ
スイッチ

巻末

ロッドレス形

SRL3

SRG3

SRM3

SRT3

MRL2

MRG2

SM-25

シリンダ
スイッチ

巻末

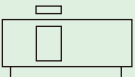


マグネット式スーパーロッドレスシリンダ 高精度ガイド形

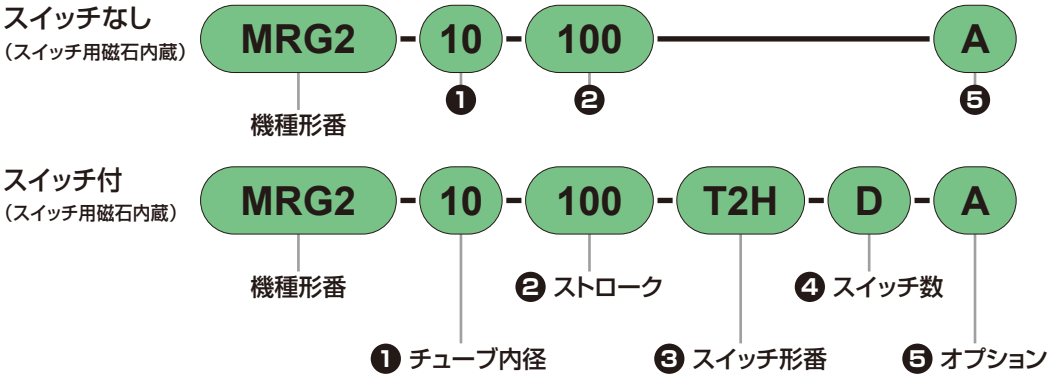
MRG2 Series

- チューブ内径：φ10、φ16、φ25

回路図記号



形番表示方法



① チューブ内径(mm)

記号	内容
10	φ10
16	φ16
25	φ25

② ストローク(mm)

記号	内容
50	50
100	100
150	150
200	200
300	300
400	400 (φ16,φ25)
500	500 (φ16,φ25)
600	600 (φ25)
700	700 (φ25)

③ スイッチ形番

スイッチ詳細については、1457ページをご参照ください。
スイッチは製品に添付して出荷します。

接点	表示灯 特殊機能	配線 (出力)	負荷電圧(V)		負荷電流(mA)		リード線 注1		
			AC	DC	AC	DC	ストレート	L字	
無接点	1色	2線	85~265	—	5~100	—	T1H※	T1V※	
		3線(NPN)	—	10~30	—	5~20 注2	T2H※	T2V※	
		3線(PNP)	—	30以下	—	100以下	T3H※	T3V※	
	2色	2線	—	24±10%	—	5~20	T2WH※	T2WV※	
		3線(NPN)	—	30以下	—	50以下	T3WH※	T3WV※	
		2線	—	24±10%	—	5~20	T2WLH※	T2WLV※	
有接点	1色 耐水性向上 1色 耐屈曲リード線タイプ	2線	—	24±10%	—	5~20	T2HLH※	T2HLV※	
		2線	—	10~30	—	5~20 注2	T2HR3	T2VR3	
有接点	1色 表示灯なし	2線	110	12/24	7~20	5~50	T0H※	T0V※	
		2線	110	5/12/24	20以下	50以下	T5H※	T5V※	

注1：スイッチ形番の“※”には、「※リード線長さ、コネクタ仕様」表にて選択した記号を入れてください。

注2：上記の負荷電流の最大値：20mAは、25℃でのものです。スイッチ使用周囲温度が25℃より高い場合は、20mAより低くなります。（60℃のとき5~10mAとなります。）

注3：シリンダの耐水性能を保証するものではありません。

注4：上記スイッチ形番以外のスイッチも用意しております。（カスタム品） 詳細については、1457ページをご参照ください。

※リード線長さ、コネクタ仕様

記号	内容
無記号	1m(標準)
3	3m(オプション)
5	5m(オプション)
W	M8コネクタ、1PIN(+)4PIN(ー)リード線0.3m

注5：T2WLH、T2WLVのみ選定可能です。

例) リード線長さ
1m T0H
3m T0H③
5m T0H⑤

注3

④ スイッチ数

記号	内容
R	R側1個付
L	L側1個付
D	2個付
T	3個付
4	4個付(4個以上はスイッチ数を入れてください)

注1：R側、L側はスイッチ取付位置寸法図(249ページ)をご参照ください。

二次電池対応仕様

(カタログNo.CC-1226)

- 二次電池製造工程で使用できる構造

MRG2 - - P4※

※詳細はお問い合わせください。

スイッチ単品形番表示方法

SW - T0H※

③ スイッチ形番

ショックキラー単品形番表示方法

MRG2 - 10 - C

① チューブ内径

⑤ オプション

記号	内容	
A	両側全ストローク調整金具付	
A1	R側全ストローク調整金具付	
A2	L側全ストローク調整金具付	

注1：全ストローク調整金具は後付け出来ません。

注2：R側、L側ストローク調整金具位置は247ページをご参照ください。

SRL3

SRG3

SRM3

SRT3

MRL2

MRG2

SM-25

シリンダ
スイッチ

巻末

仕様

項 目		MRG2		
チューブ内径	mm	φ10	φ16	φ25
作動方式		複動形		
使用流体		圧縮空気		
最高使用圧力	MPa	0.7		
最低使用圧力	MPa	0.3	0.2	
耐圧力	MPa	1.05		
周囲温度	℃	5～60		
接続口径		M5		Rc1/8
ストローク許容差	mm	+1.5 0		
使用ピストン速度	mm/s	50～1000		
クッション		ショックキラー		
給油		不要（給油時はタービン油ISO VG32を使用）		
磁石保持力	N	63	166	350
許容吸収エネルギー	J	2.1	5.3	8.7

注1：ショックキラー抗力によりストロークエンドに達するまで時間がかかります。十分考慮してご使用ください。

注2：標準ストローク以外はカスタム品となります。

ストローク

チューブ内径 (mm)	標準ストローク (mm)	最大ストローク (mm)	最小ストローク (mm)	スイッチ付最小ストローク (mm)
φ10	50,100,150,200,300	300	50	50 (2個付の場合) 注2
φ16	50,100,150,200,300,400,500	500		
φ25	50,100,150,200,300,400,500,600,700	700		

注1：標準ストローク以外はカスタム品となります。

注2：T1H、T2WLH/Vのスイッチ2個付きの最小ストロークは70となります。

シリンダ質量

単位 (g)

形式	スイッチなし		スイッチ質量 グロメット1個 あたり	全ストローク調整金具 加算質量 (1個当り)
	ストロークS=0mm時の 製品質量	S=100mm当りの 加算質量		
MRG2-10	610	180	18	75
MRG2-16	1170	280		110
MRG2-25	3270	490		200

理論推力表

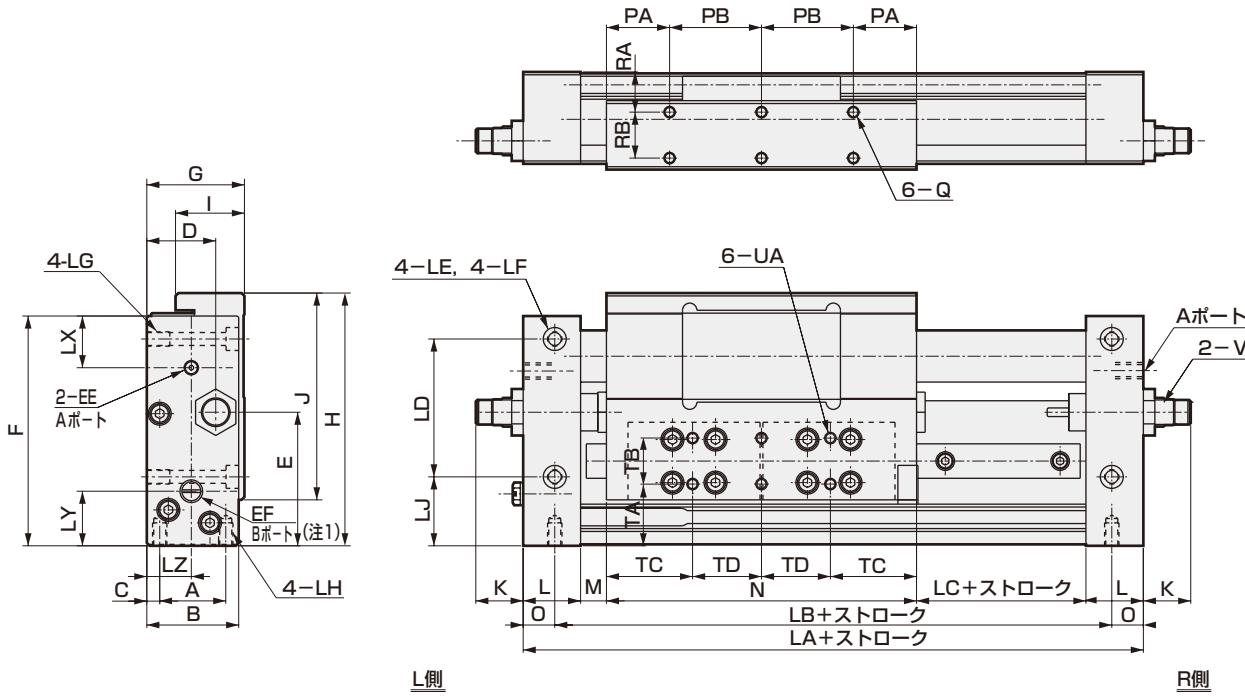
(単位：N)

チューブ内径 (mm)	作動方向	使用圧力 MPa					
		0.2	0.3	0.4	0.5	0.6	0.7
φ10	Push/Pull	－	23.6	31.4	39.3	47.1	55.0
φ16	Push/Pull	40.2	60.3	80.4	1.01×10 ²	1.21×10 ²	1.41×10 ²
φ25	Push/Pull	98.2	1.47×10 ²	1.96×10 ²	2.45×10 ²	2.95×10 ²	3.44×10 ²

MEMO

外形寸法図

- MRG2（高精度ガイド形）



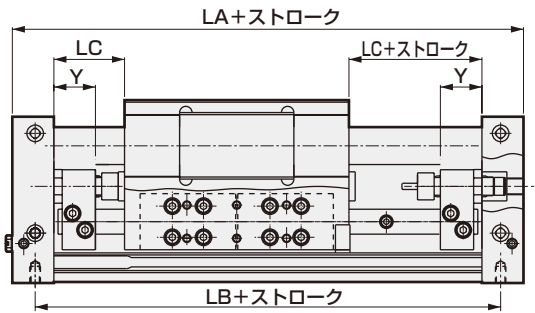
記号	外形寸法					取付寸法									
チューブ内径 (mm)	LA	B	G	F	H	O	LB	LD	LJ	LE	LF		LG	LH	
φ 10	138	26	28	70	74	11	116	40	22	φ4.5	8座ぐり深さ4.4		M5深さ8	M4深さ8	
φ 16	166	32	34	80	88	11	144	48	24	φ4.5	8座ぐり深さ4.4		M5深さ8	M5深さ8	
φ 25	214	44	46	100	114	15	184	62	32	φ5.5	9.5座ぐり深さ5.4		M6深さ12	M6深さ10	
記号	取付寸法														
チューブ内径 (mm)	A	C	PA	PB	RA	RB	Q			TA	TB	TC	TD	UA	
φ 10	18	4	16	24	12	12	M4深さ6			19.5	13	24	16	M4深さ6	
φ 16	23	4.5	22	32	14	16	M4深さ6			21.5	16	30	24	M4深さ6	
φ 25	23	5.5	34	40	20	20	M6深さ8			23	22	38	36	M6深さ8	
記号	一般寸法														
チューブ内径 (mm)	D	LX	EE	LY	EF	LZ	E	I	J	K	L	M	N	LC	V
φ 10	19	18	M5深さ4	17	M5深さ4	11.5	38.5	20	58	14	20	9	80	9	MRG2-10-C
φ 16	24	18	M5深さ4	19	M5深さ4	15	46.5	24	72	16.5	20	9	108	9	MRG2-16-C
φ 25	32.5	23	Rc1/8	21.5	Rc1/8	23	55	32	98	19	25	8	148	8	MRG2-25-C

注1：一面集中配管でご使用になる場合、Bポートのプラグをはし、そのプラグをR側Aポートに組みつけてご使用ください。

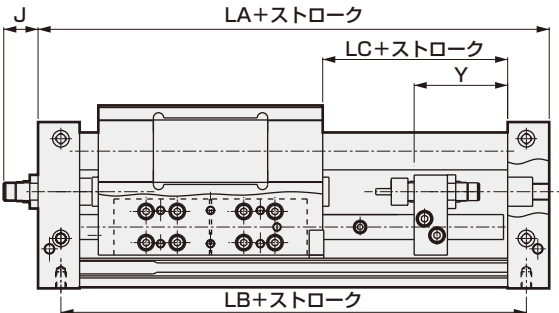
注2：各スイッチ付の寸法は、249ページをご参照ください。

外形寸法図

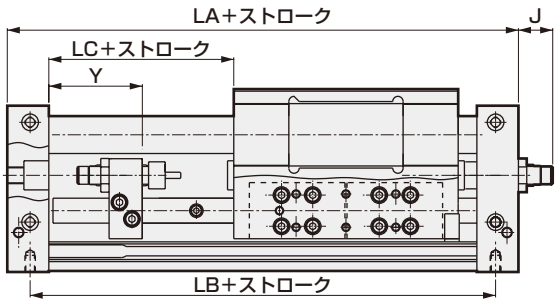
- MRG2-※-A（高精度ガイド形、両側全ストローク調整金具付）



- MRG2-※-A1（高精度ガイド形、R側全ストローク調整金具付）



- MRG2-※-A2（高精度ガイド形、L側全ストローク調整金具付）

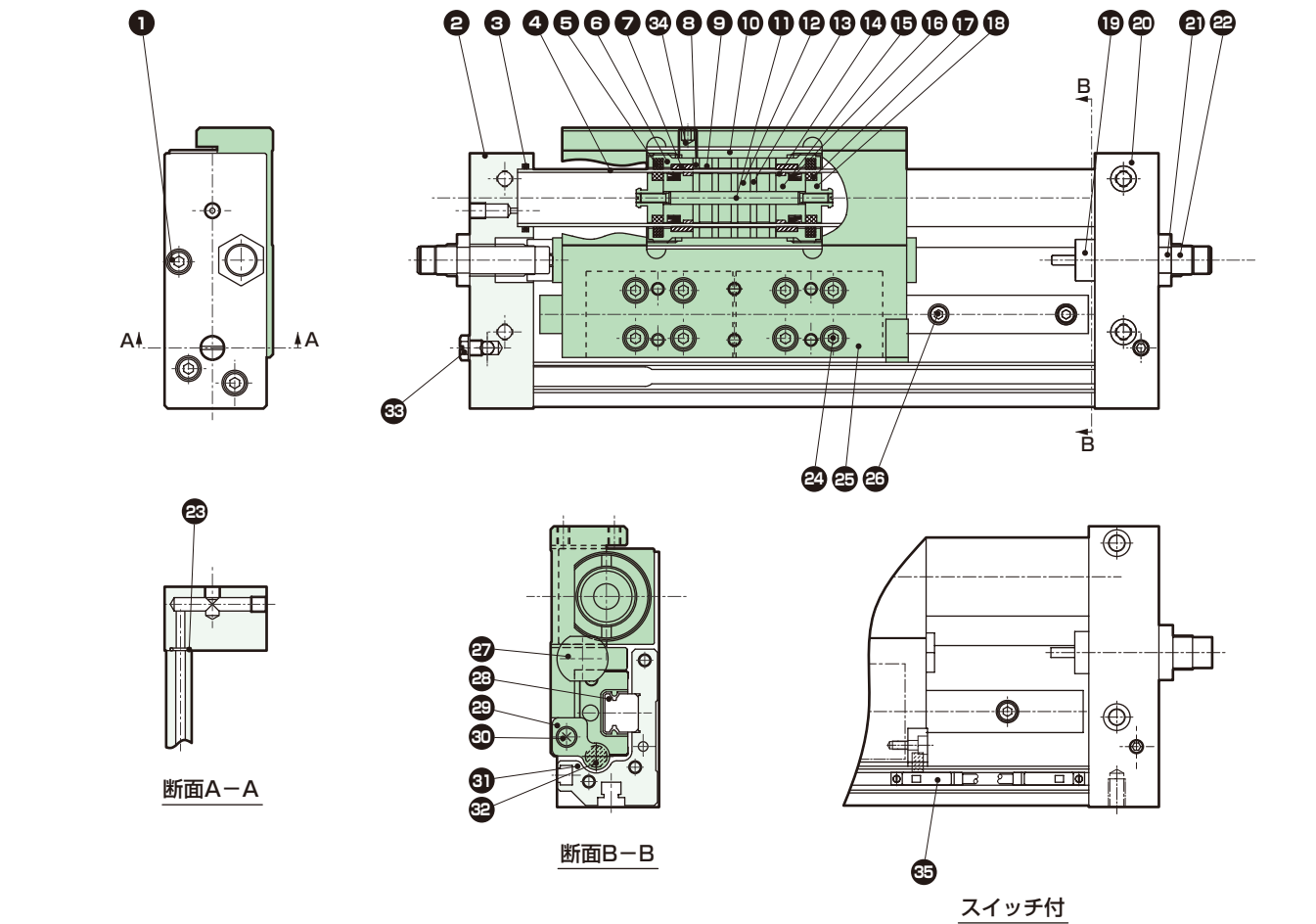


記号 チューブ内径 (mm)	LA			LB			LC			Y			J		
	A	A1	A2	A	A1	A2	A	A1	A2	A	A1	A2	A	A1	A2
φ 10	188			166			34	59		20	45		—	14	
φ 16	216			194			34	59		20	45		—	16.5	
φ 25	314			284			58	108		41	91		—	19	

注：各スイッチ付の寸法は、249ページをご参照ください。

内部構造図・材質

● MRG2（高精度ガイド形）



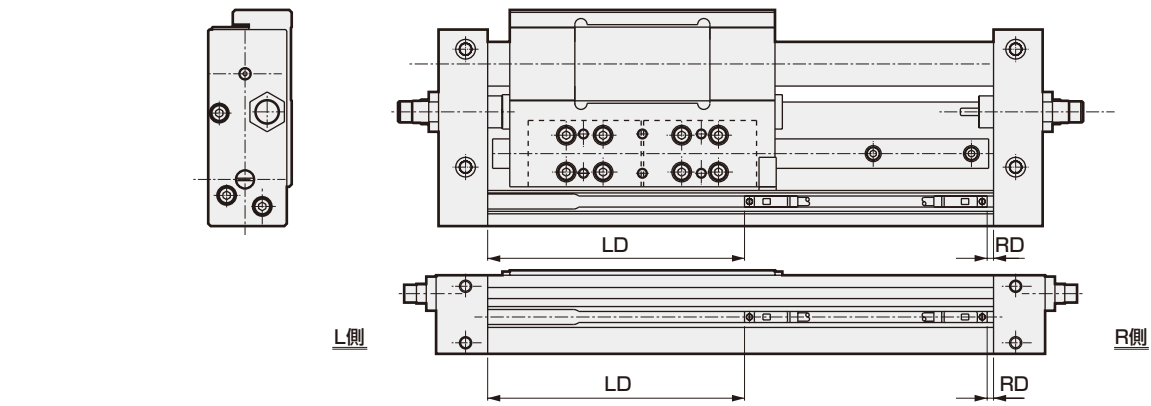
分解不可

品番	部品名称	材 質	備 考	品番	部品名称	材 質	備 考
1	六角穴付ボルト	ステンレス鋼		19	ストッパキャップ	ステンレス鋼	
2	エンドプレート (L)	アルミニウム合金	アルマイト	20	エンドプレート (R)	アルミニウム合金	アルマイト
3	Oリング	ニトリルゴム		21	六角ナット	鋼	亜鉛めっき
4	シリンダチューブ	ステンレス鋼		22	ショックキラー		
5	ルプキーバ (スライダ用)	特殊ゴム		23	Oリング	ニトリルゴム	
6	スライダカバー	アルミニウム合金	クロメート	24	六角穴付ボルト	ステンレス鋼	
7	スライダウェアリング	ポリアセタール		25	テーブル	アルミニウム合金	アルマイト
8	スライダヨーク	鋼	亜鉛めっき	26	六角穴付ボルト	ステンレス鋼	
9	磁石	特殊合金		27	ロッド受け	ステンレス鋼	
10	スライダ	アルミニウム合金	クロメート	28	リニアガイド		
11	ピストンシャフト	ステンレス鋼		29	磁石ホルダ	ポリアセタール	
12	磁石	特殊合金		30	十字穴付なべ小ねじ	ステンレス鋼	
13	ピストンヨーク	鋼	亜鉛めっき	31	ベース	アルミニウム合金	アルマイト
14	ピストンウェアリング	ポリアセタール		32	磁石	特殊合金	
15	ピストン (1)	アルミニウム合金	クロメート	33	プラグ	φ10、φ16：FPL (CKD) φ25：ステンレス鋼	
16	ピストンパッキン	ニトリルゴム		34	六角穴付止めねじ	ステンレス鋼	φ25のみ
17	ルプキーバ (ピストン用)	特殊ゴム		35	スイッチ		
18	ピストン (2)	アルミニウム合金	クロメート				

外形寸法図

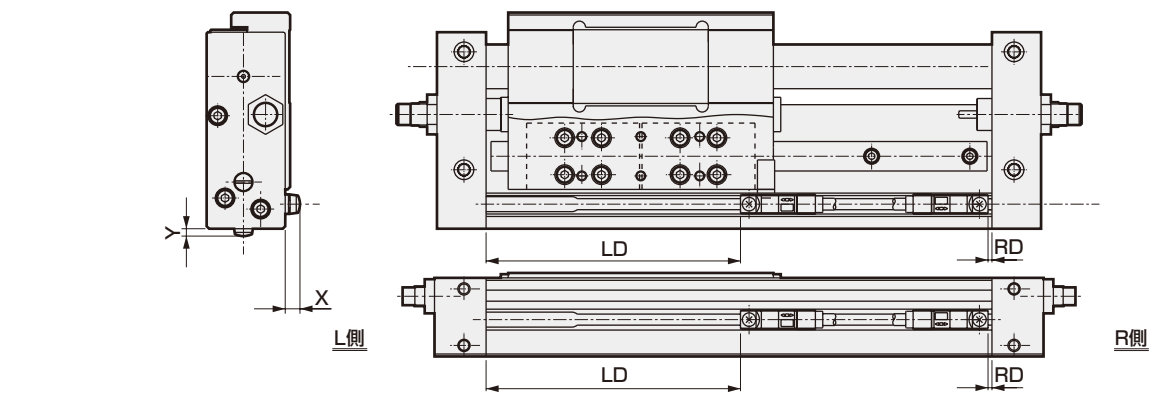
MRG2シリーズ スイッチ付外形寸法図

● T0H/V、T5H/V、T2H/V、T3H/V、T2WH/V、T3WH/V、T2WLH/V



形番	記号 チューブ内径 (mm)	T0,T5		T2,T3		T2W,T3W,T2WL	
		LD	RD	LD	RD	LD	RD
MRG2	φ10	75.5	1.5	76.5	2.5	78.5	4.5
	φ16	103.5	1.5	104.5	2.5	106.5	4.5
	φ25	142.5	0.5	143.5	1.5	145.5	3.5
MRG2-※-A	φ10	100.5	26.5	101.5	27.5	103.5	29.5
	φ16	128.5	26.5	129.5	27.5	131.5	29.5
	φ25	192.5	50.5	193.5	51.5	195.5	53.5
MRG2-※-A1	φ10	75.5	51.5	76.5	52.5	78.5	54.5
	φ16	103.5	51.5	104.5	52.5	106.5	54.5
	φ25	142.5	100.5	143.5	101.5	145.5	103.5
MRG2-※-A2	φ10	125.5	1.5	126.5	2.5	128.5	4.5
	φ16	153.5	1.5	154.5	2.5	156.5	4.5
	φ25	242.5	0.5	243.5	1.5	245.5	3.5

● T1H/V

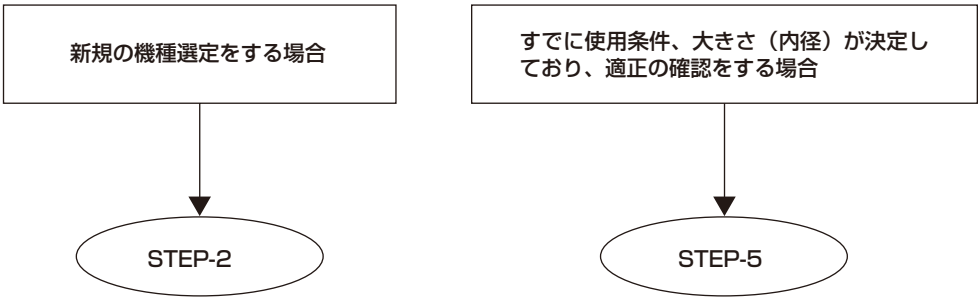


形番	記号 チューブ内径 (mm)	X	Y	T1	
				LD	RD
MRG2	φ10	11.5	8.5	75.5	1.5
	φ16			103.5	1.5
	φ25			142.5	0.5
MRG2-※-A	φ10			100.5	26.5
	φ16			128.5	26.5
	φ25			192.5	50.5
MRG2-※-A1	φ10			75.5	51.5
	φ16			103.5	51.5
	φ25			142.5	100.5
MRG2-※-A2	φ10			125.5	1.5
	φ16			153.5	1.5
	φ25			242.5	0.5

MRG2シリーズ選定ガイド

● 一般のエアシリンダとは選定条件が異なりますので、選定ガイドによって適正の可否を確認してください。

STEP-1



STEP-2

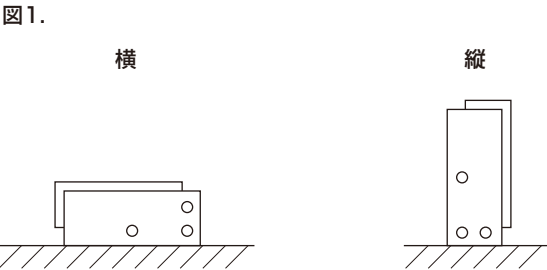
● 使用条件の確認

- 1.使用圧力 (P) (MPa)
- 2.負荷荷重 (W) (N) (負荷荷重=ワーク荷重+治具荷重)
- 3.取付方向 横・縦 (下図“図1”参照)
- 4.ストローク (L) (m)
- 5.移動時間 (t) (S)
- 6.平均速度 (Va) (m/s)

シリンダの平均速度Vaの計算式

$$Va = \frac{L}{t} \text{ (m/s)}$$

<取付方向>
作動の方向 水平、垂直-上昇、垂直-下降
取付方向 横、縦（図1参照）



STEP-3

● 必要推力の算出

シリンダの必要推力 (FN) を算出します。

- 1.水平作動時
 $F_N = W \times 0.2^*$ = (N)
- 2.垂直作動時
 $F_N = W$ = (N)

注：スライダに負荷を載せた時のガイド部等の摩擦抵抗値です。外部に更に抵抗がある場合別途考慮してください。

STEP-4

● 概略のシリンダの大きさ選定

$$\text{シリンダの必要推力 } F_N \leq \text{理論推力} \times \frac{\mu}{100} \times \frac{\alpha}{100}$$

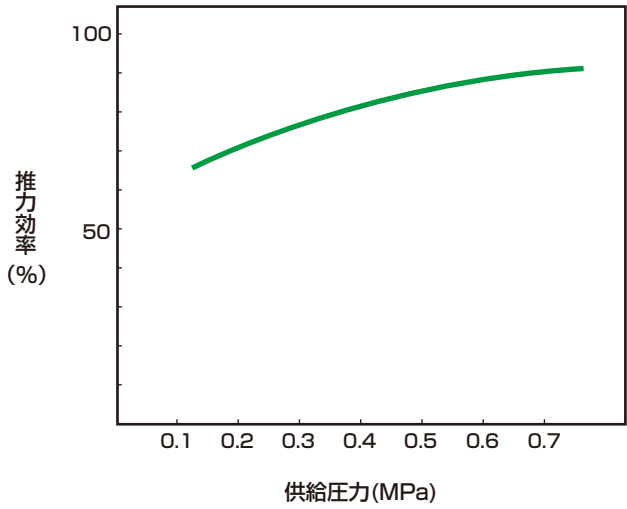
μ : 推力効率 (%) (図2参照)
 α : 負荷率 (%) (表2参照)

この条件を満たすシリンダサイズを選びます。

表1.理論推力値

チューブ内径 (mm)	使用圧力MPa					
	0.2	0.3	0.4	0.5	0.6	0.7
φ10	—	24	31	39	47	55
φ16	40	60	80	101	121	141
φ25	98	147	196	245	295	344

図2.推力効率 μ



負荷率 α ：一般的な使用では表2の範囲が望ましい。

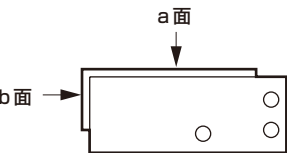
表2.負荷率の目安

使用圧力 MPa	α (%)
0.2~0.3	$\alpha \leq 40$
0.3~0.6	$\alpha \leq 50$
0.6~0.7	$\alpha \leq 60$

STEP-5

● 垂直荷重と各モーメント値の算出

負荷のシリンダ取付状態により垂直荷重（W1、W2）、モーメント（M1、M2、M3）を計算します。



	a面に取付け	b面に取付け	計算結果
垂直荷重 W1 W2			W1= W2=
曲げモーメント M1=F1xℓ1			M1=
横曲げモーメント M2=F2xℓ2			M2=
振りモーメント M3=F3xℓ3			M3=

表3.各パラメータの値

	(m)	
シリンダスイッチ	チューブ内径 (mm)	C
	φ10	0.016
	φ16	0.020
巻末	φ25	0.026

STEP-6

● 垂直荷重と各モーメントの合成値の確認

各負荷を表4の最大許容値で割り、その合計値が1.0以下であることを確認します。

$$\frac{W1 \text{ (または } W2\text{)}}{W1 \text{ (または } W2\text{)}_{\max}} + \frac{M1}{M1_{\max}} + \frac{M2}{M2_{\max}} + \frac{M3}{M3_{\max}} \leq 1.0$$

合計値が1.0より大きい場合は

- 1.負荷の再検討
- 2.シリンダ内径をより大きいものにするなどの見直しを実施します。
- STEP-2
- シリンダ内径を上げ
- STEP-5

表4.垂直荷重、各モーメントの最大許容値

チューブ内径 (mm)	W1max (N)	W2max (N)	M1max (N・m)	M2max (N・m)	M3max (N・m)
φ10	44	35	2.2	1.2	2.2
φ16	103	91	7.4	3.2	7.4
φ25	176	176	18.3	7.3	18.3

STEP-7

● 運動エネルギーの確認

負荷質量m (kg) と速度V (m/s) から運動エネルギーを算出し、ショックキラーの仕様範囲内であることを確認してください。
仕様を超える時は、シリンダサイズを上げるか、外部に緩衝装置を配置してください。

(1) 運動エネルギーの計算式

$$E_1 = \frac{1}{2} \times m \times V^2 = \text{ } (\text{J})$$
$$m = \frac{W}{9.8} = \text{ } (\text{kg})$$
$$V = \frac{L}{t} \times \left(1 + 1.5 \times \frac{\alpha}{100} \right) = \text{ } (\text{m/s})$$
$$\alpha = \frac{F_N}{\text{シリンダの理論推力} \times \frac{\mu}{100}} \times 100 = \text{ } (\%)$$

E₁ : 運動エネルギー (J)
m : 負荷質量 (kg)
V : 速度 (m/s)
W : 負荷荷重 (N)
L : シリンダのストローク (m)
t : 作動時間 (s)
α : シリンダの負荷率 (%)
F_N : 必要推力 (N)
μ : 推力効率 (%)

(2) ショックキラーについて

MRG2で使用するショックキラーを表5に示します。

表5.ショックキラーの仕様

機種	MRG2-10	MRG2-16	MRG2-25
ショックキラー形番	MRG2-10-C (NCK-00-0.3使用)	MRG2-16-C (NCK-00-0.7使用)	MRG2-25-C (NCK-00-1.2使用)
最大吸収エネルギー (J) 注1	2.1	5.3	8.7
ストローク (mm) 注1	5	7	8.5
時間当り吸収エネルギー (KJ/時)	6.3	12.6	21.6
最大繰返し頻度 (回/min)	35	30	30

注1 : ストップキャップを使用しストロークエンド手前で止めているため、エネルギー、ストロークとも標準品より小さくなっています。

● ショックキラーの許容衝突エネルギーの確認

下表の計算式により、衝突物相当質量Me、および衝突エネルギーEを算出し、MeおよびEが図4、表5の許容値以下であることを確認してください。また、繰返し頻度も表5により許容値以下であることを確認してください。

● 記号

E	：衝突エネルギー		(J)
Me	：衝突物相当質量		(kg)
m	：負荷質量		(kg)
F	：シリンダ推力		(N)
V	：衝突速度		(m/s)
St	：ショックキラーのストローク		(m)
g	：重力加速度	9.8	(m/s ²)

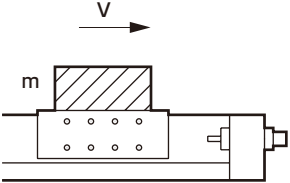
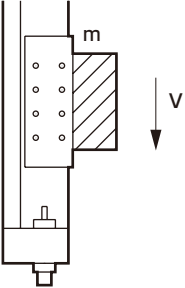
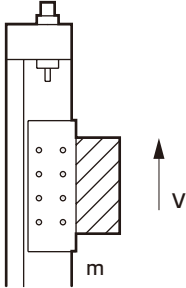
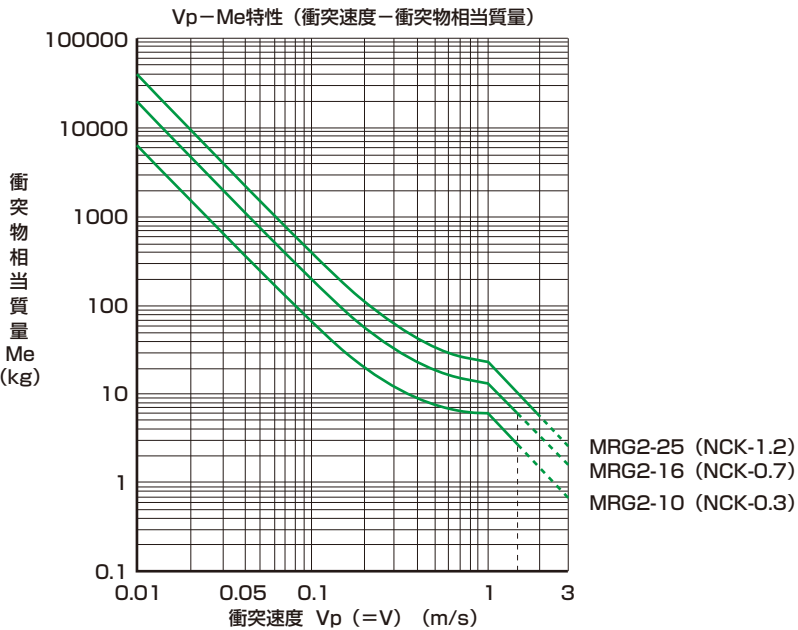
	水平移動	垂直下降	垂直上昇
使用例			
衝突物相当質量 Me (kg)	$Me = m + \frac{2F \cdot St}{V^2}$	$Me = m + \frac{2 \cdot St (F + mg)}{V^2}$	$Me = m + \frac{2 \cdot St (F - mg)}{V^2}$
エネルギー E (J)	$E = \frac{mV^2}{2} + F \cdot St$	$E = \frac{mV^2}{2} + (F + mg) \cdot St$	$E = \frac{mV^2}{2} + (F - mg) \cdot St$

図4



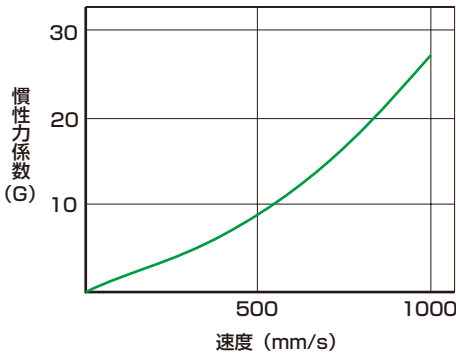
STEP-8

● 慣性負荷の確認

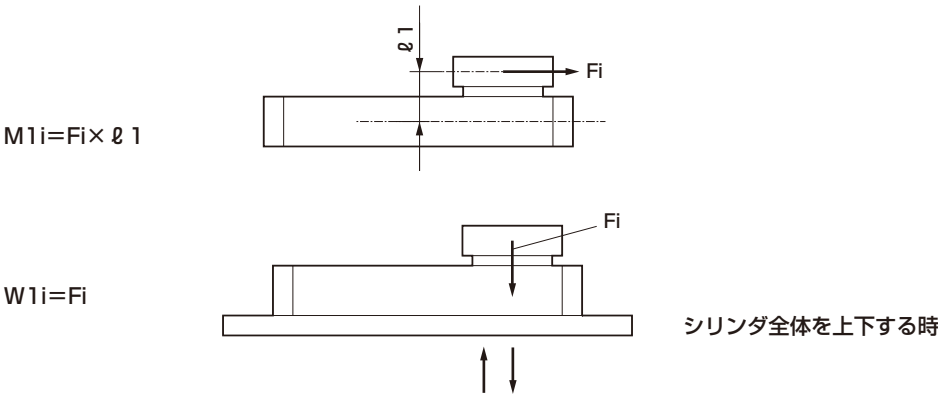
ストローク端では負荷から作用する慣性力が働きます。その力が許容範囲内であるかどうかを確認します。

- (1) 速度Vと図5の慣性力係数により、慣性力Fiを計算します。
 $Fi = 9.8 \times m \times G$ (N)
m：負荷の質量 (kg)
G：慣性力係数

図5.慣性力係数



- (2) 慣性力によって発生する荷重やモーメントを計算します。
(例)



- (3) 静負荷と慣性力によって発生する荷重やモーメントを合計して表4の許容値で割り、合計値が1.0以下であることを確認します。

$$\begin{aligned} W1g &= W1 + W1i & M1g &= M1 + M1i \\ W2g &= W2 + W2i & M2g &= M2 + M2i \\ & & M3g &= M3 + M3i \end{aligned}$$

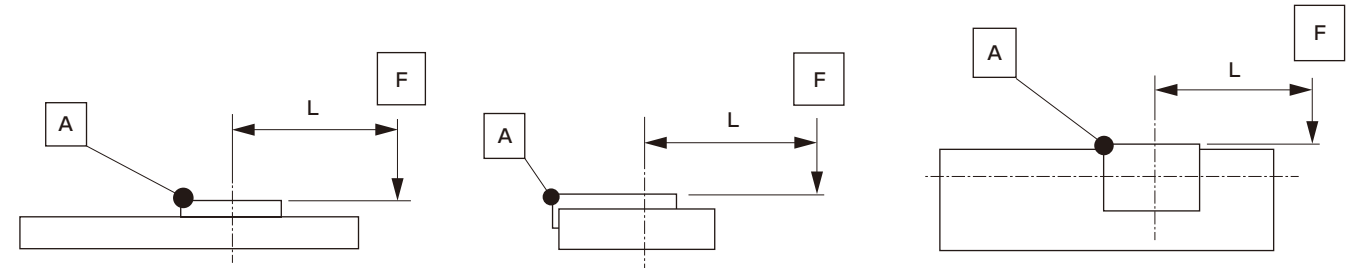
$$\frac{W1g \text{ (または } W2g \text{)}}{W1 \text{ (または } W2 \text{) max}} + \frac{M1g}{M1 \text{ max}} + \frac{M2g}{M2 \text{ max}} + \frac{M3g}{M3 \text{ max}} \leq 1.0$$

MRG2 テーブルの変位量（参考値）

● 曲げモーメント方向
 $M1 = F \times L$

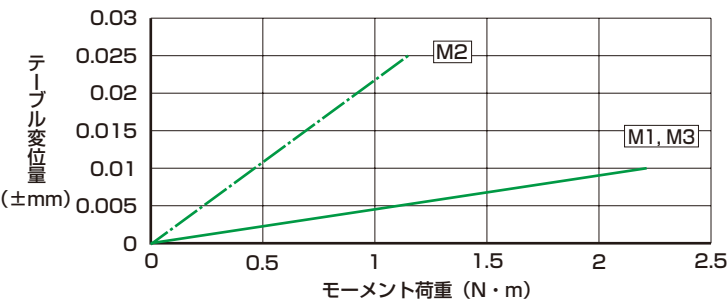
● 横曲げモーメント方向
 $M2 = F \times L$

● 捩じりモーメント方向
 $M3 = F \times L$

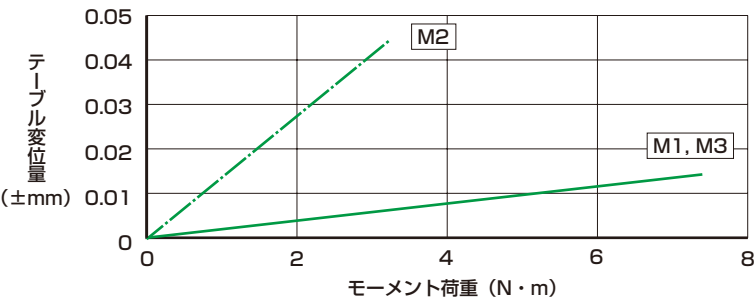


Aの変位量＝テーブルの変位量

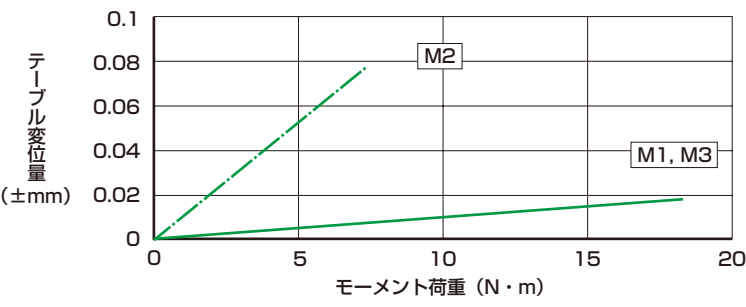
● MRG2-10



● MRG2-16



● MRG2-25



注：テーブルの変位量はストロークエンドでの参考値を示す。

MEMO



空気圧機器

本製品を安全にご使用いただくために

ご使用になる前に必ずお読みください。

シリンダー一般については巻頭41ページを、シリンダスイッチについては1512ページをご確認ください。

個別注意事項：スーパーロッドレスシリンダ MRG2シリーズ

設計・選定時

警告

- シリンダは、機械の摺動部のこじれなどで力の変化が起こる場合、テーブルが飛び出す危険があります。

このような場合、手足を挟まれるなど人体に傷害を与え、また機械の損傷を起こす恐れがありますので、スムーズに機械が運動を行う調整と人体に傷害を与えないような設計をしてください。

- 減速回路やショックキラーが必要な場合。

駆動物体の速度が速い場合や質量が大きい場合、標準装備のショックキラーだけでは衝撃の吸収が困難になりますので、ショックキラーに入る前で減速する回路を設けるか、外部にショックキラーを使用し緩和対策をしてください。この場合、機械装置の剛性も十分検討してください。

- 許容値以上の負荷が加わる場合や最高使用圧力以上でご使用されるとピストンが離脱することがあります。

ご使用時

注意

- エンドプレートとテーブルのすきまに注意してください。

シリンダ作動中は指や手が挟まれ傷害を与える場合がありますので、十分注意してください。

- シリンダには、選定資料の許容値以上の負荷をかけないでください。

- テーブル固定でのご使用はしないでください。

シリンダは、エンドプレート固定でご使用ください。テーブル固定でのご使用は避けてください。

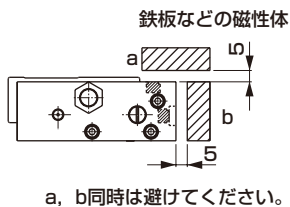
- テーブルが全行程最低使用圧力値以下で作動するよう取付を行ってください。

シリンダ取付面の平面度が悪いとガイド部のねじれにより最低作動圧力が上昇し、軸受部の早期摩耗の原因となりますのでテーブルが全行程最低使用圧力以下で作動するよう取付けを行ってください。平面度の高い取付け相手面を希望しますが、十分確認できない場合はシム調整などを行ってください。

- シリンダチューブ外周面に傷や打こんをつけないようご注意ください。

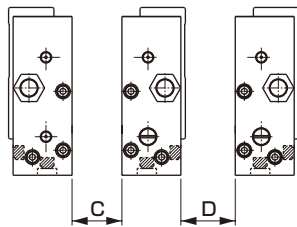
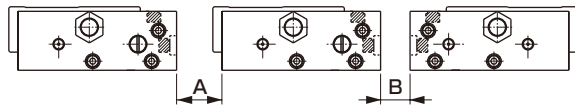
ルブキーパ、スライダウェアリングの損傷をまねき、作動不良の原因となります。

- シリンダスイッチの近くに鉄板等の磁性体がある場合、シリンダスイッチの誤作動の原因となりますので、下記寸法以上距離をとってください。



a, b同時は避けてください。

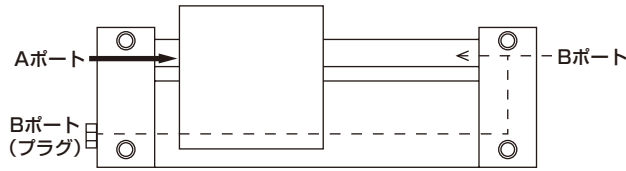
- シリンダを隣接して使用したり、他の磁気センサーを近傍で使用する場合は、シリンダ内部磁石の漏れ磁界による誤作動を防止する為に、シリンダ又は磁気センサを下記の数値以上に離してください。



単位：mm					
口径	A	B	C	D	E
φ10	20	10	10	10	20
φ16	20	10	10	10	20
φ25	50	20	20	20	50

E寸法以下となる場合は、磁性体（鉄板厚さ2mm以上）をテーブルとの間にはさむことによって誤作動を防止できます。

- 配管ポート位置と動作方向について



Aポートへ加圧するとスライドテーブルは図の右方向へ動きます。
Bポートへ加圧するとスライドテーブルは図の左方向へ動きます。
Bポート（プラグ）は出荷時プラグにてシールしてあります。プラグをとりはずし右側のBポートをシールすることにより集中配管が可能になります。

- 当社のショックキラーは消耗部品として取り扱ってください。

エネルギー吸収能力の低下がみられた場合や、作動が円滑ではなくなった時に交換をしてください。

- 内蔵磁石の磁力は強力です。分解しないでください。

ロッドレス形

SRL3

SRG3

SRM3

SRT3

MRL2

MRG2

SM-25

シリンダスイッチ

巻末

取付・据付・調整時、使用・メンテナンス時の注意事項については、本カタログ記載の「ご使用時」およびCKD機器商品サイト(<https://www.ckd.co.jp/kiki/jp/>)→「形番」→[取扱説明書](#)をご覧ください。